

豊かで住みよい町づくり

Vol.

60

上勝

議会だより

2016. 2. 1 発行

2P 定例会

3P 臨時会
主な討論

4P 一般質問
5名が町政について質問

9P 議長就任・退任挨拶

10P 新議員挨拶

12P まちのようす

第6回 定例会

会期 9日
開会 平成27年12月3日
閉会 平成27年12月11日

主な議題

条例

上勝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

質疑討論の結果 4対3で可決

上勝町税条例等の一部を改正する条例

全員異議なく可決

上勝町介護保険の一部改正
全員異議なく可決

国民健康保険上勝診療所の設置及び管理に関する一部条例の改正
全員異議なく可決

国民健康保険上勝町福原診療所の設置に関する一部条例の改正
全員異議なく可決

平成27年度一般会計補正予算(補正第3号)
質疑討論の結果 全員異議なく可決

国民健康保険(診療施設勘定)特別会計補正予算
全員異議なく可決

定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結
全員異議なく可決

発議

地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書
質疑の結果 全員異議なく可決

介護報酬改善と介護従事者の処遇改善施策の拡充に関する意見書
質疑の結果 全員異議なく可決

請願

さらなる年金削減の仕組「マクロ経済スライド」の廃止を国に求める意見書
質疑の結果 6対1で採択

国庫負担を増額し国民健康保険税の引き下げを求める請願
質疑の結果 6対1で採択

主な討論

上勝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例について

反対 明本議員

セキュリティ問題対策等、今始まっているので、非常に時期尚早と言わざるを得ない。

賛成 鹿島議員

使用目的が限定されているので。

反対 渡部議員

急いで作る必要はない。内容が確定してから。

賛成 松下議員

行政に非常に必要な番号制度。事務の簡素化とか迅速な取り扱いができるということ。

第1回 臨時議会

会期 1日
開会 平成28年1月8日

常任委員会等委員の選任について
監査委員選任(鹿島國男議員)につき同意を求めることについて
4対1で同意

上勝町議会正副議長・委員会等構成

(平成28年1月8日～)

議長・副議長

議長 松下和照
副議長 岩本文昭

議会運営委員会

委員長 片山文昭
副委員長 明本恵一
委員 星場真人

総務常任委員会

委員長 岩本文昭
副委員長 片山文昭
委員 松下和照
委員 岡本明

産業建設常任委員会

委員長 明本恵一
副委員長 渡部厚子
委員 鹿島國男
委員 星場真人

議会広報調査特別委員会

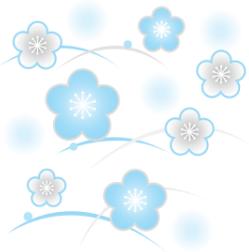
委員長 片山文昭
副委員長 星場真人
委員 明本恵一
委員 岩本文昭
委員 岡本明

小松島市外三町村衛生組合 議会議員

議員 松下和照
議員 岩本文昭

議会選出監査委員

監査委員 鹿島國男



平成27年度 一般会計補正予算 (補正第3号)

追加額 1,227万4千円

総額 34億748万4千円

質疑の結果
全員異議なく可決

● 社会保障整備費 個人番号・通知カード関連 461万2千円	● 財産管理費 選挙システム改修(18才引き下げ) 37万8千円
● 財産管理費 本庁駐輪場屋根修繕 64万8千円	● 戸籍住民基本台帳費 備品購入費(耐火金庫購入) 166万円

平成27年度 国民健康保険(診療施設勘定)特別会計補正予算 (補正第1号)

追加額 12万円

総額 1億583万3千円

全員異議なく可決

● 一般管理費 理学療法士職員産休 ▲76万9千円	● 歯科医業費 役務費 12万円
● 賃金 臨時看護師 69万3千円	



明本 恵一 議員

明本

町政は住民本意に

CATV・ 情報通信設備工事

問 工事の入札状況を問う。

答 横山総務課長

一般競争入札の結果NTTが3億4,910万円で落札。(設計金額3億7,948万円)

問 サービス業者の選定は。

答 横山総務課長

提案方式(プロポーザル方式)で決めた。応募は2社、CATVテレビ徳島決定。

問 テレビのみの加入希望者にはインターネット加入権(PPAドレス等)の設定は不要だ。町が貸付けるVOIP・ルーターも不要だ。借りなければネット料金は要らない。

答 横山総務課長

従来から了解を得てセット料金にしている。業者は分けられないと言っている。

問 サービス契約は個々の加入者とサービス会社が直接結ぶ契約だ。「テレビのみ契約する」と言う人は加入させないのか。

答 横山総務課長

全世界帯に一応連絡している。町が機器(V130)を貸し付け、取付け中だ。セット料金でお願したい。

バイオは無理な体質

問 上勝バイオ再建は体質的に無理だ。町との并助定も限界だ。13年赤字解消策は、初年度に、2億6,000万円町費投入を食い尽くした。累積赤字が2億7,000万円に達する見込。画像処理装置は正常稼働が出来ない。これで会社の今後の見通しはあるか。

答 花本町長

半分以下の稼働率だった。

問 機械化・生産性向上は全て失敗では。

答 花本町長

園床椎茸製造自体が極めて機械システム・施設に頼る装置産業だ。

問 「装置産業」その認識こそ災いのもとだ。わが子を育てるように育てる農業だ。

答 花本町長
カネボウOB等の指導で黒かび菌汚染は解決の目途が立った。

問 ウジ虫による椎茸の廃棄量は。

答 花本町長

昨年4月から11月まで3万5,600kg(2,500万円の損失)下期に取り戻す。

集めすぎ国保は減税を

問 国保税、積立て基金が多すぎ全国ワースト4となっている。税額を下げ納税者に還元すべきではないか。

答 花本町長

県と協議を重ねている。税軽減か、還付か協議中だ。

使用延期を

問 マイナンバーは、取扱者があまりに多い。各課2名、支所や教育委員会まで2名配置)不測の事態が起こりかねない。

答 花本町長

1月1日実施に間に合わせるため必要だ。個人情報保護には万全を期す。

彩山について

問 彩山の進捗状況と資金手当は。

答 花本町長

11月30日、山林調査が終了。購入予定面積や作業道計画を用地関係者に説明した。町費を使わない資金を模索中だ。

地方創生の 予算配分は

松下

新型交付金 4,000万円位か

町長

問 地方創生の平成28年度予算額はどの程度か。

答 花本町長

国の概算要求額が1,080億円、事業費は2倍と言つことで昨年より少し増えて4,000万円位か。まだ具体化されずおらず想定段階だ。

問 彩山、地域山林購入単価の提示はいくらか。

答 花本町長

提示している1平米単価は11円20銭、これでも県下最高額である。事業の公平性を保つた上で今後検討してまいりたい。

問 彩山構想・完成時期の想定と予算総額はどの程度なのか。

答 花本町長

地方創生については5ヶ年計画です。2年過ぎようとしており、彩山に関しては後々維持管理が必要。事業完結には時を要す。どういった母体で取り組むのか、現在検討している。検討を委託し移行を見守りたい。予算についてはまだ全部煮詰めていない。

問 庁舎内に観光担当部署を設けるべきだ。

答 森副町長

彩山あるいはゼロウェイストセンターなど交流人口の増加につながるような施策を推進することによって上勝町にとって観光業は有望な産業であると認識している。現在、町長を会長として上勝観光交流協議会を通じ充実強化を図ってまいりたい。庁舎内観光部署の明示

問 集落再生の取り組み状況について。(平成27年の計画は)

答 多田企画環境課長

計画は6年目を迎え町内集落全体で18件となっている。計画の未提出の名は2つある状況だ。

農林業の展望は

問 彩農家の格差が鮮明になりつつあるが、これからの展望は。

答 吉積産業課長

彩農家さんで販売額等で格差が出てきていることは認識している。今後各農家の努力によるが、心配しているのは品質低下のないように彩ブランド全体に及ぼす悪い影響を懸念している。彩部会生産者一体となって底上げを図っていただく事が

第一と考えている。

問 中山間地域直接支払制度の加入参画状況は。

答 吉積産業課長

4期目に入った中山間直接支払交付金制度は29協定・28の集落協定プラス一つの個人協定で、実質2地区減の状況である。

問 TPP・環太平洋連携協定で稲作・果樹等について対策は。

答 吉積産業課長

輸入米の増加により国産米の価格水準が下落する懸念はある。果樹については温州みかんも影響

問 一人住いや小規模農家の支援チームづくりは、又都市型農業との競合は可能か。

答 吉積産業課長

支援チームづくりは、まだ考えが及んでいない。今後の検討課題としてまいりたい。都市型大規模農業に太刀打ちする対策として、彩のように付加価値が高い商品とか、安全安心が安定的に栽培できる作物が望ましい。訳だが今後ともに模索していきたい。



松下 和照 議員



豊作のユズ園



渡部厚子 議員

渡部

企画環境課長

新設ごみステーションの 景観は

先ず機能優先で

問 いっきゅう茶屋からごみステーション、貯木場がよく見える。貯木場が移動したあとの新しいごみステーション周辺の景観をどう考えるか。

答 多田企画環境課長
機能優先で建物が構築された後に検討してゆきたい。

問 景観のことを十分に考えてほしい。見取図によると駐車場が目立ちすぎる。大型車はもくさんの後ろに駐車して、もくさんを見学しながらごみステーションへ行くようにしてはどうか。

答 花本町長
もくさんを混合すると安全面から管理できない。景観も十分配慮していきたい。



いっきゅう茶屋からの展望

ゼロ・ウェイスト 町外への働きかけは

推進計画に
盛り込む

問 ゼロ・ウェイスト行動宣言のうち、町内に向けた行動はよくできているが、国や県、企業への働きかけができていない。

答 多田企画環境課長
確かに、活発に取り組んでいる。廃棄物担当者会議などの際に拡大生産者責任の確立、分別回収の徹底など、国に対しても強く提案していきたいと思う。

問 町民に対しては洗って、分けてと負担をかけているのに外へは何もやっていない。行動宣言は一体何年前にできたのか。

答 花本町長
これから5年間のゼロ・ウェイスト推進計画の中に、企業に呼びかけるとか、認証制度を設けるなども入れてゆきたいので暫く待っていただきたい。

㈱バイオ、 有機栽培は 今使っている菌で やれる

問 有機栽培用のしいたけ菌がH1からXR1菌

に変わった。新たにかかる実験費用の見込みは。

答 吉積産業課長
XR1は今使っている菌なので、そのまま販売用の一貫生産を行なう。それで特別な費用は発生しない。

問 H1菌は非常に強いので有機栽培できるという話だった。今使っている菌はうまくいっていないのにそれが有機でやれるのか。

答 吉積産業課長
扱いなれている、気候的にも強い、汎用性が高い。また、H1菌では収穫量が200〜300gのところをXR1では400〜500gが見込まれる。

佐那河内村ではXR1菌で約20ハウスを自然栽培している実績がある。

その他、地域創生総合戦略の進め方について質問した。

保育園から町道への 安全策は

鹿島

安全策を早急に 対応したい

町長

問 保育園から町道へ出るときに、急に車が来て危ない。なんとかならないか。

答 花本町長
通常ラクダの背中と言われている南岡から学校へ来る道で、ストーンガードの下が50cm位コンクリートであり、隠れたところから急に園児が出てくので危ないとのことであったが、これについては早急に対応したい。



保育園入口付近

定住自立圏形成に ついて

減便と聞いている。朝夕の通学の便は減便しないとのことである。

問 今回定住自立圏形成で、火葬場の利用が小松島と一緒に使用できるようにになり、利用料金も同じになった。他にもあるのか。

答 横山総務課長
施設の利用はない。

葉ワサビや野菜の 団地を作っては

問 最近、葉ワサビが非常に良いという。圃場の整備や補助制度を設けては。

答 吉積産業課長
現在10数件の農場が生産していて単価も年々上昇している。生産より需要が多いが、大量に増や

高鉾公民館の エレベーターは

問 高鉾公民館のエレベーターの完成時期と乗員数は。

答 吉積教育委員会事務局長
完成時期は2月末で3月より利用できる。また、3人乗りである。

他に、彩山、サステナブルアカデミーについても質問した。



鹿島國男 議員

答 花本町長

これは、ドットラインという法律で決まっているもので、信号機のない交差点で、車線と通行部分以外とに区分けするための線である。今後検討したい。

問 4月から徳バスの勝浦線廃止と報道されたが。

答 立川教育長
横瀬西からバイパス經由の徳島間の往復全便が廃止であるが、町営バスはバイパス經由の便に連絡していないので問題ない。それ以外の便で1便

武市

企画環境課長



武市 功 議員

やがて10年、国文祭 野外アート作品どうする 地域や関係者の 意見を聞き検討

問 作成して10年近くを迎える国民文化祭野外アート作品外観、安全面で現在の状況は。

答 多田企画環境課長
平成19年秋開催の作品であり、外観は作成時に比べ色あせた感もあるが、構造等は地元の適切な手入れ作業により問題はないと思っている。

問 最終的には大きな残骸となる作品、どのような処遇に。

答 多田企画環境課長
用地借地契約1年前の平成28年3月に展示継続について、双方の意思表示により、安全確保が継続可能で、地域から作品

展示継続の要望があれば、町が危険と判断するまで管理期間の延長等相談。先進地の事例では保存修繕費用はかさむが、撤去事例は少ない。



アート作品（もくもくもく）

定住対策に補助金を

問 勝浦町では住宅の新築改修などに年齢に関係なく町民であれば100万円の補助制度新設のようだが、将来上勝に住み続けたい現町民や、Uターン者への優遇策として本町も制度化しては。

答 花本町長
上勝には50歳以下で5年以上定住の移住者に対

して100万円を限度として補助制度がある。勝浦に追随するのでなく少し様子を見て今後検討したい。

問 荒廃空き家の撤去について、持ち主責任51・3%、行政のかかり40・3%、そのまま放置3・9%との内閣府調査報告があった。本町の取り組みは。

答 吉積産業課長

地震時において倒壊により道路を閉塞する恐れのある危険な空き家の除去の促進、地域の防災性を図るといった観点で、支援事業について県担当部局に情報をいただき検討している。

答 花本町長

空き家の撤去には個人負担がかなり必要であり、他町村の例も踏まえ、条例制定を検討している。その準備ができた段階で該当と思われる関係者に呼びかけし、空き家除去の推進に努めたい。

TPP対策に農水関連で3,000億円、土台の補正、農地、土地改良に1,000億円、補正予算

問 彩や柚の海外輸出と話題性のある中、その年によって集荷制限される香酸柑橘、低迷の米価、赤字続きの3セク一次産業、高齢化で維持管理が危ぶまれる農地等、課題山積。この大型補正予算本町ではどのような施策が考えられるか。

答 吉積産業課長

徳島県では基金積み立ての方針であるが、具体的な支援内容について示されていない状況で国・県の動向を注視し情報収集して行く。土地改良、農業整備事業については上勝町の予算の中になかった新たな用水の改修、について要望があればこの予算を使えるのではと思っている。

彩山構想、苗木植栽にかかれるのは何年後か

問 山林の購入から、基幹作業道や小道の整備、彩苗木の植栽箇所の畑地化、地方創生関連事業でどこまで整備できるのか。この財源は苗木植栽まで含まれるのか。

答 花本町長

地方創生の予算枠は、微々たるものであり、従前の事業予算の獲得が必要。長期計画であり、地方創生戦略5年間で着工のめどをつけたい。

彩山の林地購入のあまりにも安い提示金額、居宅に隣接する土地への愛着、所有者目線に立てば理解しがたい面も。所有権そのままでも協力要請の方向転換等、用地の町有化白紙撤回も視野に、この構想がスムーズに進められるよう私見を述べ今期締めくくりに質問を終了した。

議長就任のあいさつ



上勝町議会議長
松下和照

新しい年を迎えて、ご挨拶申し上げます。

この度、議員各位のご推挙により、栄えある議長のご重責を担うこととなりました。もとより、私は浅学非才であり、今後議会はもとより、町民各位のご指導、ご鞭撻を賜りながら、努力する所存であります。議会と町理事者とは、車の両輪の如くお互いに立場を守りながら上勝町をより良い町になるよう、頑張っていきたいと思っております。

今、上勝町は少子高齢化の真っ只中にあり、急速に人口減少が続いております。都市住民との交流や、応援し隊

等々協力も得ながら放棄地を防ぐとともに若者の住める住宅環境も整えながら対策をしなければなりません。上勝町の進めている集落再生事業も全町的にすすめ、阻害林の除去に努めていきたいと思っております。第3セクターにおいても危機的状況は続いておりまして、関係者の最大限の努力により経営の改善を期待しております。

今後とも町民各位の意向に添いながら、議会としても努力していきたいと思っております。結びにあたり、町民皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます、ご挨拶いたします。

議長退任のあいさつ



前上勝町議会議長
片山文昭

平成28年の新春を迎え謹んでお喜びを申し上げます。

平成26年一月より二年間、松下副議長初め議員各位、また、花本町長と理事者の皆様、それから町民皆様方のご指導、ご鞭撻により、議会運営が出来ました事に對し、心より感謝申し上げます。

議長在任の間、(株)上勝パイオの赤字問題、町営塾の開設、集落再生事業等取り組んでまいりましたが、まだまだ道な

りです。そして今後、彩山事業、ゴミステーション整備事業など重要な事業が沢山あります。議員各位又理事者の皆様方と協力して問題解決に全力で取り組んでまいります。そして、美しく豊かで、安全で安心して住める町づくりに取り組みたいと思っております。今後鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

最後にりましたが、町民皆様方のご繁栄と、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

抱 新議員挨拶 負

明日の上勝づくり 決意も新たに



岡本 明
議員

遅ればせながら明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって素晴らしい一年でありますようお祈り申し上げます。

皆様のおかげをもちまして、今年1月より新人議員としての活動がスタートいたしました。生まれ育った上勝町でありながら、まだまだ分からない事が多く、勉強不足を痛感しておりますが、町民の皆様と町との橋渡し役になれるよう、また、若い世代の新しい風を吹き込めるよう努力して参ります。最後になりますが、町民の皆様には、議会に対してもっと身近に感じ、関心を持っていただけるような活動が出来たらと思っております。今後ともご支援、ご指導の程よろしくお願いいたします。



星場 眞人
議員

輝かしい新年を迎え、皆様にはご健勝でご活躍のことと存じます。

新人議員の私は「安全で安心して暮らせる町」を目指し、皆様からの負託に応えるべく頑張る所存です。

危険な道路改修や崖崩れ予防等の自然災害への対策が求められ、また南国でも降雪対策は重要で、更に教育環境の整備や福祉の充実、産業振興も欠かせません。こうした皆様からのご要望は私のメモに終わらせず、同僚議員と意見調整の上で行政に反映させたいと思います。

テレビで見る『初めてのお使い』は本当に可愛く微笑ましいですが、私には厳しい必死モノです。皆様のご支援とご協力が総てでございますので、本年も今後とも宜しくお願い申し上げます。



岩本 文昭
議員

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

議員として2期目を務めさせていただく事になり身の引き締まる思いでございます。4年間を振り返りますと議員としての活動がどれだけ出来たかと反省する事も多々ありますが今までの経験をいかし上勝町の抱える少子高齢化、農林業の振興、第3セクターの問題等多くの難題に議員各位と共に知恵を出し合い解決を図り、高齢者が安心して豊かに暮らせる安全な町、子育て、教育に心配がいらない持続可能な町づくりに努力して参りますので今後共、町民皆様方のご指導宜しくお願い申し上げます。



渡部 厚子
議員

3期目となりました。今まで何か成果があったのかと問われると苦しい立場となりますが、実際のところ議員ひとり成し遂げられることなどひとつもありません。

先ず町民、次に執行者、議員のどちらかの提案の順番で事は成立します。



鹿島 國男
議員

初春のお慶びを申し上げます。昨年の町議選で、かつて経験のしたことのない、無投票当選を自身の引き締まる思いと共に、町民皆様に感謝しているところでございます。



片山 文昭
議員

新春を迎えお慶び申し上げます。昨年12月の町議選挙におきましては、町民の皆様方よりご支援を賜り、無投票当選することが出来ました。無投票での当選を重く受け止め、町民のご期待に応えられるように全力を尽くして参ります。

今上勝町では、彩事業・ゴミゼロ等で全国から注目を集めています。しかし、町内においては、彩事業等の後継者不足、香酸柑橘等の販売不振、第3セクターの赤字問題等、非常に厳しい状況にあります。



明本 恵一
議員

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

無投票で5期目をつとめさせて頂くことになり新年から張り切っています。お陰様にて健康に恵まれ82歳現役の気概をもって頑張らせて頂きます。行政に限りませず生活相談ほか、何でも気軽に申し付け下さいますよう、お願いします。

町民の間でも、議員の間でも意見は分かれます。

その時に少数派でも自信を持って自分の意見を貫くには、広い見識、現場の把握、そして良き将来を望む熱意が必要です。

熱意は老いとも衰えませんが、自覚がなくてもです。けれども、若い、希望ある人にバトンタッチするまで、気力を充実させ、意欲を持って4年間頑張ります。

どうぞ、よろしく。

4年前にこの場で、鳥獣害の防護柵を張る計画を立てました。今柵はできていますが、手入れをしている香酸柑橘の安定した販売ができておりません。農家の人は困っていますので、今年の計画は、収穫したものは全量出荷できるように販売に全力で取り組みます。

ふる里をこよなく愛し日々安全で安心して生活していけるように環境の整備に力を入れます。

今後共よろしくお願いいたします。

また、集落再生事業を継続実施することで、美しく豊かで住みよい町づくり、また、少子高齢化が進んでいるなか、高齢者、子供達や孫達が未来に希望を持って安全で安心できる町づくりに、全力で取り組んで参りますので、今まで以上のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

町民皆様方のご繁栄とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

町村合併を境に、議員削減などにより、議会の独立性が低下し、地方自治の衰退が始まっています。民意が行政に反映し難くなり、官僚的、一方的、行政運営を助長させていると感じています。

テレビだけの加入者からインターネット料金をタダ取りしている問題も「説明のもとに加入している」との一方通行の情報基盤整備事業の例にも現れている通りです。

私は、議会改革、住民主人公の風通しの良い政治を目ざし努力しますので、皆様の温かいご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。

まちのようす



上勝開拓団による「宝船」公演



成人式



蔭伐り（府殿地区）



旭川災害工事中（堂平地区）



議会広報調査特別委員会



蔭伐り（南岡地区）



編集後記

異常なまでの暖かい新年でありました。
異常気象による災害等が心配されますが、平穏な年でありますようお願いしております。

昨年の12月の町議会議員選挙により新たに2名の方が加わり、広報委員は4名が新しくなりました。これからも全員一丸となり皆様に見やすく読みやすい紙面づくりに努めてまいりますので、皆様のご意見ご指導をよろしくお願い申し上げます。

（片山）